





巨杉

A photograph of a wooden shelter in a forest. The shelter has a brown, gabled roof and is supported by several wooden posts. Inside the shelter, there are two wooden benches. The ground is covered with dry leaves and twigs. The surrounding trees are mostly bare, suggesting a late autumn or winter setting. A sign with the Japanese characters '巨杉' (Gyusugi) and an arrow pointing left is visible on the left side of the shelter.



日本ピラミッド「**葦嶽山**」(815m) 頂上

この山はどの方向から見ても三角形に見える
その山容はこの山が神体山として崇敬された
ことをしめしています。

昭和九年、ピラミッドの研究家酒井勝軍
という人がこの山頂から直径約三米の太陽石
とそれをとりまく円形と方形の繁境を発掘し
尾根続きの鬼叫山(東北方へ約一五〇米)に方位
石や供物台と呼ばれるトルメン等があること
から世界最古の(約二万三千年)ピラミッドで
この葦嶽山はその本殿、鬼叫山は拝殿である
ことを発表し、天下の衆目を集めました。

その後、この説を異端邪教の類と見なした
当時の国家権力によって頂上の中心石、敷石
等は破壊離散してしまっただといわれ、今は見
ることが出来ません。

鬼叫山の巨石群は、古代縄文期にもさかのぼる
ことのできる巨石信仰の古跡であり、鏡岩は平滑
な岩面が日、月光を反映し「輝く神」として信仰の拠
点とされ、神武岩はその前庭として古代人には
初詣の摸理をしめす偉観であったと思われる。
この古跡は、近隣の帝釈峽の縄文文明の時代
地域を背景とした壮大な古代信仰圏の一端または
中核に位置する聖域だったのではないかと……
昭和五九年八月この地を訪れた歴史学者古田武彦
氏の推論である。

庄原市観光協会





葦嶽山

815M

ひるしよ西部山岳会

2007. 11. 11

日本ピラミッド(葦獄山) 下山ルート



- 凡 例
- 車道
 - 登山ルート
 - 遊歩道